

「第14回製薬協フォーラム」開催される

トップニュース

製薬協事務局長
住田 高志

「第14回製薬協フォーラム」は、2013年11月28日(木)、経団連会館において、患者団体、国会議員、行政、関係団体、オピニオンリーダーおよび報道関係者など約400名の招待客の出席のもと開催されました。当フォーラムは、製薬協に関係する各界のリーダーと会員企業の代表者が一堂に会して意見交換を行うことを目的として毎年この時期に開催されます。今回は、講演Ⅰとして国の健康・医療戦略について、内閣総理大臣補佐官 内閣官房健康・医療戦略室長 和泉洋人氏を、講演Ⅱとしてがん領域における現在の課題と今後の研究開発について、独立行政法人国立がん研究センター理事長の堀田知光氏を招き、講演をお願いしました。

第一部 講演会

「健康・医療戦略の推進を目指して」と題する講演Ⅰでは、2013年8月2日、内閣に総理大臣を本部長とする健康・医療戦略推進本部が設置され、8月8日に開催された第1回健康・医療戦略本部において、推進本部が健康・医療分野の成長戦略(健康・医療戦略)を推進するにあたって、革新的な医療技術の実用化を加速するために、医療分野の研究開発の司令塔機能の本部の役割を担うことが決定されましたが、その内容について詳細な説明がありました。

また、「Unmet medical needsと今後の研究開発」と題する講演Ⅱでは、がんにおける未充足なニーズとして希少がんや小児がん、難治がんがあります



内閣総理大臣補佐官
和泉洋人氏



国立がん研究センター
理事長 堀田知光氏

が、それらに対する新規治療薬の開発や適応外薬への対応が求められていることや、特にアジアに多い疾患については日本が国際共同治験を主導することによってUnmet medical needsの充足と国際競争力の向上に寄与することが期待されており、そのためにはアカデミアと企業、行政が連携して創薬研究を進めることが重要であるとの説明がありました。

製薬協は、革新的で有用性の高い医薬品の開発と製薬産業の健全な発展を通して、日本および世界の人々の健康と福祉の向上に貢献することを目指す研究開発志向型製薬企業の団体です。世界最先端の医療技術・サービスの実現、健康寿命世界一の達成はもとより、健康・医療分野にかかる産業が戦略産業として成長し、わが国の経済成長へ寄与したいと考えています。



講演の様子

「第14回製薬協フォー



日本医師会 横倉会長



日本薬剤師会 児玉会長



歓談の輪が



日薬連 内藤会長の乾杯の発声により開宴



歓談風景



歓談風景

第二部 懇談会

定刻より15分早く開催された懇談会では、製薬協手代木会長の主催者挨拶に続き、厚生労働省を代

表して赤石清美厚生労働大臣政務官、日本医師会を代表して横倉義武会長、日本薬剤師会を代表して児玉孝会長、患者会代表として日本てんかん協会 古屋光人常務理事の来賓挨拶の後、日本製薬団体連合会

ラム」懇談会 会場風景



広がる風景



製薬協 手代木会長の挨拶



製薬協 多田副会長の
中締め挨拶



製薬協 野木森副会長(写真左)



歓談風景

内藤晴夫会長の乾杯の発声で開宴となり、その後、多くの国会議員から製薬産業に対する期待と激励の言葉を頂戴しました。満員の会場は多くの参加者の熱気が溢れ懇談の輪が会場一杯にひろがりました。

終宴にあたっての多田副会長挨拶の後も名残りを惜しむ歓談が続き、大盛会のうちに第14回製薬協フォーラムは定刻通り、無事終了することができました。